

## 狭山池博物館での蓄音機とラジオの展示及び蓄音機の実演会

JA3AER 荒川泰蔵

大阪府立狭山池博物館は、日本で最も古い人工池（約1,400年前）として知られた狭山池の土木技術の歴史を展示・研究する博物館であるが、運営費用の削減のため約2年前に大阪狭山市郷土資料館がここに移設され、大阪府、大阪狭山市、それに市民を加えて協働運営をするユニークな博物館に生まれ変わった。この博物館の建物の設計は世界的に有名な安藤忠雄氏であるため海外からの見学者も多い。

今般、大阪狭山市郷土資料館が毎年開催している企画展「くらしの道具」に、私のコレクションである蓄音機とラジオの展示をとの依頼を受け、昨年来準備してきたコレクションを特別展示室の半分以上のスペースに展示して頂いた。会期は2011年2月9日から3月13日までで、エジソンの円筒式蓄音機を含めSPレコード用の蓄音機数台の他、1920年代の鉱石ラジオから1950年代の真空管とトランジスターのハイブリッドラジオまでの十数台を、陳列ケースの中に並べてもらっている。これらの蓄音機やラジオの一部は、2002年に大阪国際交流センターで開催したアマチュア無線再開50周年記念行事「ラムの国際交流とボランティア活動」の会場に展示したものであるが、博物館の陳列ケースに学芸員が整然と並び、説明のパネルを添えて照明をすると、何でもない蓄音機やラジオが輝いて見えるのは不思議である。企画展「くらしの道具」は、小学3年生の社会科で学ぶ「道具とくらし」に呼応して企画されたものらしく、地域の小学校の先生に引率された子ども達が見学に来てくれている。説明には英語（アルファベット）を使わずカタカナで、また漢字にはふりがなを付けてとの要求は、見学に来た子ども達が熱心にパネルの説明をノートに書き取っているところをみて納得できた。

大阪狭山市立郷土資料館 平成22年度企画展

# くらしの道具

平成23年2月9日(木)～3月13日(日)

大阪府立狭山池博物館 1階 特別展示室にて開催

『くらしの道具』をテーマに生活にかかせなかった石油ランプ、大和こたつ、豆炭行火などの懐かしい生活道具にくわえて、今回は真空管ラジオ、トランジスタラジオ、蓄音機など昔のオーディオ機器の展示もおこないます。大人の方には懐かしく、子どもたちには新しい展示をぜひ、ご家族でご覧下さい！

むかしのレコードをさいてみよう  
—蓄音機の実演とお話し—

2月13日(日)・27日(日)  
3月13日(日)  
午後2時～3時  
当館2階ホール  
東条 汎川 泰蔵氏

大阪狭山市立郷土資料館 経狭山池博物館

〒591-8501 大阪狭山市色賀2丁目  
TEL/072-367-4891 FAX/072-367-4893  
ホームページ/1100/www.soyamaikobunko.osakacity.osaka.jp  
©片橋共結(行曜記、祝日の場合は翌日) ©入館無料



科学技術教育強化が叫ばれているが、子ども達に科学技術に興味を持ってもらわないと始まらないだろうと、蓄音機やラジオを子ども達に触らせたいと申し出たが、博物館としてはとんでもないことで、博物館の一番の使命は展示物を壊さないことにあると説明を受けた。折衷案として館内のホールで蓄音機の実演会を行い、その場で現物に近づき触れて頂いてはと、期間中に3回、「蓄音機の実演とお話」をすることになった。最初は2月13日の午後2時にそれを実施したが、受付や会場の準備等に「大阪狭山アマチュア無線クラブ」と「大阪狭山市まちづくり研究会」の協力を得ることができ、「大阪府電波適正利用推進員協議会」からも周知啓発活動として来場者にパンフレットやグッズの配布をしてくれた。当日は約50名の参加者にスライドを使ってコレクションの説明や、どのように収集したのか簡単なお話をした上で、円筒式蓄音機を含む4台の異なる蓄音機でSPレコードの演奏を聞かせ、子ども達に近くで見て頂くことができた。我われのラジオクラブで盛んに行った「ファミリー電波教室」を希望する先生や、保護者達の声を聞くこともでき、今後の活動につながればと考えている。最後の実演会は展示会の最終日の3月13日(日)の午後2時からを予定しているの、時間の許す方は是非ご来館下さい。



狭山池博物館展示品一覧表 (2011年2月9日~3月13日)

**蓄音機** 8台

| 番号  | 形式    | 名称                                     | 国       | 年代     | メーカー                       |
|-----|-------|--|---------|--------|----------------------------|
| 101 | 円筒式   | エジソン スタンダード C型                         | 米国      | 1908年頃 | エジソン・フォノグラフ社               |
| 102 | 卓上ラッパ | 銘板なし                                   | 米国      | 1910年頃 |                            |
| 103 | 卓上小型  | ニッポノフォン・ユーフォン                          | 日本      | 1911年頃 | 日本蓄音機                      |
| 104 | 卓上箱型  | VICTROLA VV-9                          | 米国      | 1921年頃 | Victor Talking Machine Co. |
| 105 | 卓上箱型  | COLUMBIA GRAFONOLA (20A ?)             | 米国      | 1924年頃 | コロンビア社                     |
| 106 | 卓上箱型  | Viva-Tonal Columbia Grafonola No. 109  | 英国または米国 | 1925年頃 | コロンビア社(日本コロンビアか?)          |
| 107 | ポータブル | HMV 101型                               | 英国      | 1927年頃 | グラモフォン社                    |
| 108 | ポータブル | Viva-Tonal Columbia Grafonola No. 109A | 英国または米国 | 1925年頃 | コロンビア社                     |

**ラジオ** 17台

| 番号  | タイプ     | 名称・型番                               | 国  | 年代    | メーカー   |
|-----|---------|-------------------------------------|----|-------|--|
| 201 | 鉱石ラジオ   | GECOPHONE No.1 Type B.C. 1001       | 英国 | 1922  | GENERAL ELECTRIC Co., Ltd.                           |
| 202 | 鉱石ラジオ   | BTH "BIJOU" CRISTAL                 | 英国 | 1923  | THE BRITISH THOMSON-HOUSTON Co. Ltd.                 |
| 203 | ヘッドフォン  | BTH                                 | 英国 | 1923頃 | THE BRITISH THOMSON-HOUSTON Co. Ltd.                 |
| 204 | 真空管ラジオ  | Westinghouse AERIOLA SR. RECEIVER   | 米国 | 1922  | Westinghouse   |
| 205 | 真空管ラジオ  | RCA RADIOLA III (2球超再生)             | 米国 | 1924  | RADIO CORPORATION OF AMERICA                         |
| 206 | 木製キャビ   | RCA RADIOLA Super-Heterodine (スーパー) | 米国 | 1924  | RADIO CORPORATION OF AMERICA                         |
| 207 | スピーカー   | Brown                               | 英国 | 1922  | S. G. Brown Ltd.                                     |
| 208 | メタルキャビ  | ATWATER KENT Model 42               | 米国 | 1928  | Atwater Kent Mfg. Co.                                |
| 209 | スピーカー   | GROSLEY DYNAONE TYPE P              | 米国 | 1927  |  |
| 210 | 木製キャビ   | SHAPPDYNE MODEL No. 460 (並四)        | 日本 | 1933  | T.HAYAKAWA METAL LABORATORIES                        |
| 211 | ベークライト  | Ever Ready Battery Table Model      | 英国 | 1946  | Ever Ready Co. (Great Britain) Ltd.                  |
| 212 | ランチボックス | MARCONIPHONE P20B (4球)              | 英国 | 1948  | MARCONIPHONE Co. Ltd.                                |
| 213 | ポータブル   | URTRA R906 (4球)                     | 英国 | 1953  | ULTRA  |
| 214 | ポータブル   | HMV. His Masters Voice              | 英国 | 1955頃 | The Gramophone Company Ltd.                          |
| 215 | 木製キャビ   | HMV. His Master's Voice Model 5213  | 英国 | 1955頃 | The Gramophone Co. Ltd.                              |
| 216 | プラスチック  | GE Model 422                        | 米国 | 1955頃 | General Electric                                     |
| 217 | ポータブル   | MARCONIPHONE P60B (G.Marconi)       | 英国 | 1957  | The Marconiphone Co. Ltd., Hayes, Middlesex, England |

**部品** 1式

| 番号  | 名称       | 型番                    | 国  | 年代     | メーカー                       |
|-----|----------|-----------------------|----|--------|----------------------------|
| 301 | 円筒レコード   | 各種 12本                | 米国 |        |                            |
|     | 円盤レコード   | 各種 1式                 | 各国 |        |                            |
| 302 | サウンドボックス | 各種 2ヶ                 | 米国 |        |                            |
|     | 蓄音機針ケース  | 各種 1式                 | 各国 |        |                            |
| 303 | 真空管      | 各種 1式                 | 各国 |        |                            |
| 304 | ラジオ部品    | バリオメーター・バリコン・鉱石検波器 1式 | 米国 | 1910年代 | FISHER, WM.J.MURDOCK CO. 他 |



私の写真帖から  
ARISSスクールコンタクト  
photo by JA3AER



2011/2/22 滋賀県東近江市の湖東公民館で行われた西堀榮三郎探検の殿堂無線倶楽部主催のARISSスクールコンタクト、滋賀県では初めてのことでした。